



取り付けていますか？ 住宅用火災警報器

全ての**寝室**と**階段**（2階に寝室がある場合）に必要です。
正しい場所に設置されているか確認してください。



住宅用火災警報器は、 10年を目安に交換を おすすめします！

住宅用火災警報器は、一般的に電池で動いています。火災を感知するために常に作動しているため、電池の寿命の目安は約10年です。古くなると電子部品の劣化や電池切れなどで火災を感知しなくなります。

住宅用火災警報器が適切に機能するためには維持管理が重要です。 以下、定期的な交換をおすすめします。

「心肺停止」。それはいつ、どこで、誰が、どんな原因で起こるか分かりません。心臓と呼吸が止まってから、時間の経過とともに救命の可能性は急激に低下します。しかし、心肺蘇生法やAEDの使用による応急手当をすれば、救命の可能性は何もしないよりも、約2倍高くなると言われています。

消防署では、心肺蘇生法について学ぶ講習会を随時実施しています。受講を希望する人は、最寄りの消防署までお問い合わせください。

※申し込みが必要
※受講料無料



住宅用火災警報器は 電池の交換が必要です！

救命講習会

消防だより

今年の出動など(累計)

有田川町消防本部 ☎52・5950
吉備金屋消防署 ☎52・5950
清水消防署 ☎25・1243
病院紹介(和歌山県救急医療情報センター) ☎073・426・1199

火災……………6件
救急……………344件
救助……………5件
(平成30年3月31日現在)

高度救命救急センター ドクターを招いて 救急訓練を実施



3月27日(火)、和歌山県立医科大学附属病院救急検証医の島幸宏医師をアドバイザーとして消防本部に招き、救急救命処置訓練を実施しました。島医師からは救急医としての視点で、さまざまなアドバイスをいただきました。

当本部では各消防署の救急隊のレベルアップを目指し、様々な訓練に取り組んでいます。

災害用伝言ダイヤル 171

●伝言の録音

171+1+ 自分の家の電話番号など

●伝言の再生

171+2+ 自分の家の電話番号など

このほか、災害用ブロードバンド伝言板や携帯電話各社の災害用伝言板もあります。

NTTが提供する災害伝言サービスには「災害用伝言ダイヤル171」と「災害用伝言板WEB171」があります。これは被災者の電話番号をキーにして、メッセージを録音、再生するシステムです。パソコンやスマートフォンで文字入力して、伝言板感覚で使用することもできます。また、伝言ダイヤルと伝言板は、お互いに連携して使用することができます。毎月1日と15日には体験利用ができます。万一の災害に備え、一度利用してみてください。

知っているですか？ 「災害伝言ダイヤル」

防災知識の 木

